

J R 四国労組 自動車支部 ニュース

2022年10月14日 (No.3)

発行責任者／大谷 清

編集責任者／中村 鉄平

第2回自動車支部執行委員会開催！

10月4日、JR四国労組自動車支部は本部会議室にて「第2回執行委員会」を開催した。経過として、「総合労働協約改訂交渉」について報告。①保存休暇(私傷病)の要件緩和、②コロナに伴う養育の場合の保存休暇・看護休暇の適用拡大、③「出生時育児休暇」、育児休職分割取得等の整備、④準組合員(再雇用契約社員)の無給休暇新設、⑤準組合員の基本賃金改善の5項目を含む、妥結を承認した。また、9月に開催した第39回自動車支部定期大会についても代議員発言を中心に振り返った。その後、年末賞与の要求内容について協議。4期ぶりの黒字経営への転換を目標とした事業計画や直近の利用状況・収入動向を確認するとともに、この間の「安全・安心輸送の確立」をはじめとする組合員の職場での奮闘や賞与不支給、待命休職等といった組合員とその家族にも我慢を強いる施策にも協力してきたこと、さらには家計に直撃している物価上昇などの社会情勢を踏まえ、議論を行った。利用が回復する中、賞与への期待感が高まっているといった意見が出た一方で、運輸収入がコロナ前の5割を切る状況が続いており、資金繰りもマイナス収支を抜け出せていないことから、まずは賞与としての支給を確保すべきといった声も上がった。最後に、今後開催される分会大会のスケジュールを確認し合い、各分会の最近の取り組み状況を共有した。

「年末賞与」申し入れ！

要求額：基本給額の1.2カ月

支払日：2022年12月7日(水)

そして、10月12日、会社に対して「年末賞与」についての申し入れを行った。依然としてコロナ禍による影響下にあるうえに、燃油価格の高騰が厳しさに拍車をかけているものの、今年度は政府による行動制限もなく、収入は回復基調が続いている。こうした中で、生活に大きな痛みを伴う施策にも協力してきた組合員とともに労使一体で危機的状況を乗り越えるためには、その想いに応えるべく、生活給として重要な年末賞与を確保しなければならない。今後開催される交渉に向けて、一丸となって取り組む決意である。(別紙参照)

以 上

別 紙

J R 四国労組申第 9 号

2022 年 10 月 12 日

ジェイアール四国バス株式会社

代表取締役社長 高須賀 浩 殿

四国旅客鉄道労働組合

執行委員長 大谷 清

2022 年度年末賞与の要求について

ジェイアール四国バスを取り巻く経営環境は、依然としてコロナ禍による影響が続いており、足もとの運輸収入の低迷に加え、燃油価格の高騰が厳しさに拍車をかけている。また、バス需要の動向も社会変容に伴い先行き不透明と言わざるを得ない。しかしながら、今年度に入り、政府による行動制限もなく、少しずつではあるものの収入は回復基調が続いている。さらに、ワクチン接種の広がりとともに、全国旅行支援の実施による効果が期待されるなど、明るい兆しが表れ始めている。

この間、J R 四国労組組合員は公共交通機関の担い手としての矜持を持ち、懸命に業務に励んできた。そして、営業施策や経費節減のみならず、待命休職や賞与不支給、定期昇給の一部凍結など、生活に大きな痛みを伴う施策にも協力し、会社の危機的状況を労使一体で乗り越えようと取り組んできた。

今後も J R 四国労組はジェイアール四国バスの反転攻勢に向け取り組む決意であるが、これを成し遂げるためには、会社を信じ日々奮闘する組合員の想いに応えることが必要不可欠である。よって、2022 年度年末賞与を下記のとおり要求するので、誠意ある回答をされたい。

記

1 要 求 額 基本給額の 1.2 ヶ月分

2 支 払 日 2022 年 12 月 7 日（水）

以 上

J R 四国労組申第 10 号
2022 年 10 月 12 日

ジェイアール四国バス株式会社
代表取締役社長 高須賀 浩 殿

四国旅客鉄道労働組合
執行委員長 大谷 清

2022 年度準組合員（契約社員）の年末賞与の要求について

2022 年度準組合員（契約社員）の年末賞与の要求については、士気高揚の観点から
下記のとおり要求するので、誠意ある回答をされたい。

記

- 1 パートナー社員（定年退職再雇用者）
(1) 基準額 契約基本賃金の 1.2 カ月分

- 2 パートナー社員（月給・日給適用者）
(1) 基準額

調査期間内の勤務日数	運転係	構内・デスク等	営業係
65 日以上 120 日未満	85,000 円	76,000 円	68,000 円
120 日以上	170,000 円	152,000 円	136,000 円

- 3 サポーター社員（時給適用者）
(1) 基準額

調査期間内の労働時間	支給額
240 時間以上 350 時間未満	56,000 円
350 時間以上 450 時間未満	62,000 円
450 時間以上 550 時間未満	68,000 円
550 時間以上 650 時間未満	74,000 円
650 時間以上 750 時間未満	80,000 円
750 時間以上 850 時間未満	86,000 円
850 時間以上 950 時間未満	92,000 円
950 時間以上	98,000 円

- 4 支払日 2022 年 12 月 7 日（水）

以 上